

8 おわりに

本経営計画の策定にあたっては、函館市公共交通施策基本方針に基づき、市営で維持する電車事業経営の基本的方策について検討されてきたが、その過程において、電車事業の位置づけがしばしば論議となった。

市電の有する、市民生活の利便に資する健全な環境を形成するための都市施設としての重要性については、異論のないところであるが、将来に向けての魅力にあふれた事業展開の方向については、積極的経営としての路線延伸、公共交通機関への乗継拠点としてのパークアンドライド施設整備、環境施策としての軌道内緑化等、様々な意見が見受けられた。

これらを進展させるためには、交通事業者のみの見方ではない、より広汎な街づくりの観点から論議を深め、将来的課題として検討に取り組むべきものとする。

当然のことながら、本経営計画の目的である事業経営の健全化なくして、将来に渡る事業継続への展望は確立しないことから、関係各位の御支援、御理解を頂きながら、第1次経営計画に引き続き、函館市交通局は、全職員一丸となって、安全な輸送運行の厳守と健全な事業運営に邁進する所存である。